



ふたつの林檎

砂山真弓

説明

脊髄損傷をし、動く指は左手の親指と人差し指の2本だけで描きました。初めての油絵です。こんなにそれぞれの林檎の個性を黄色も使って艶やかに描けた所が自分にも絵が描けると思えた所でこれからの意欲につながりました。

感想

感想としては、まず描いてみる。絵を習っていない私が描けたので…模写でも良いと思います。



ベア&ウサギ

砂山真弓

説明

脊髄損傷をして動かせる左手の2本の指で描きました。今年の干支でもありますウサギと熊ちゃんが仲良く腕を組んで、座っています。熊やウサギちゃんの毛しつのはふわふわを私なりに、描けたつもりです。

感想

障害者になってまずは、皆さんと仲良く、そしてキチンと気持ちを伝える事。熊ちゃんやウサギちゃんの、嬉しそうな気持ちが伝わって欲しいと思います。



ガラスとおちょこ

砂山真弓

説明

透明のガラスやおちょこの質の違いが、分かったら良いと思います。ガラスは日を浴びながらヒカリ、光が当たっている方向がわかるように、おちょこにも少し色味を足したり。非常に素人には難しい課題を描いて後悔してます。

感想

ガラスのヒカリの当たり方が屈折していたり難しかったところと、ピンクの花飾りは、子供達が小さい時、ピアノのコンクールで使用し、おちょこは社員旅行など旅先で買い求めましたが家では1度も使用しませんでした。でも私にとっての思い出の品物になっております。



幼い日の思い

アコちゃん

説明

絵本でメルヘンチックな街並みを見て、こんな街に住んでみたいと思い、作品を選び刺繍を完成させました。明るく微笑む花売り娘は、私達にも語り掛けているようです。

感想

刺繍を続けることが私の生きがいです。



食卓に花を添えて

アコちゃん

説明

いつも私に食事介助をしてくれるお嫁さんに私からのプレゼント。思いやり溢れたまなざしに感謝、感謝。いつもありがとう。恵まれた家族と共に過ごす毎日に幸せを感じています。

感想

テーブルセンターを囲んで食事を楽しんでいる家族を表現しました。



クリスマスとハロウィーンと 虹のプレゼントを大切な人へおくりもの スズキ レイナ

説明

足立区障がい者アート展最後の出展です。前よりは絵が少
ないけど今回からハロウィーンと虹を描くことに挑戦しま
した。動物はパンダ、ウサギ、蛙の3匹とピアノだけが大き
なクリスマスプレゼントで、ゆきだるまはお菓子を狙っ
ていてサンタみたいな人がいる。自分にいつかクリスマス
プレゼントが届いたらいいな。大切な人にもそんなキセキ
みたいなおくりものが届いてほしいです。

感想

みたらし団子の数が多いのと少ないものがありますので間
違い探しができます。